10　家庭

学校番号	1009

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	１単位	年次	１年後期
使用教科書	家庭基礎　ともに生きる明日をつくる　（教育図書）						
副教材等	家庭基礎　ともに生きる明日をつくる　ワークノート（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
後期	住生活	○だれが暮らしているのだろう？ ・住まいの役割 ・家族の生活と住まいの空間 ・空間構成 ＊ひとり暮らしの部屋 ○どのように暮らす？ ・安全に暮らす ・健康的に暮らす ・人と、地域とつながって暮らす ○これからの住生活とは・ ・住まいの今 ・長く住み続ける暮らし	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 考査　等
	消費生活・環境	○何をどうやって買う？ ・私たちの消費生活 ・生活情報の活用 ○自立した消費者とは？ ・契約で成り立つ消費生活 ・消費問題の現状と課題 ・消費者の権利と責任 ○家計はどう管理する？ ・経済からみた暮らし ○暮らしに必要なお金は？ ・家計とその特徴 ・家計を計画的に管理しよう ＊社会保険ゲーム ○生活を見つめてみよう ・私たちの生活と環境 ・低炭素な社会をめざす ・持続可能な社会のために ○生活設計　目標を持って生きる ・生活設計 ・生活資源	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	食生活	○食生活を見つめよう ・食事のもつ機能 ・現代の食生活の課題 ○私たちが食べているもの ・栄養素とは ・栄養の働き ○安全・安心な食品を選ぼう ・食品の選択と保存 ・食品の安全 ○献立と調理 ・献立を立てよう ・何をどれだけ食べる？ ○調理実習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:自分や家族の食生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうととしている。 b:自分の食生活を振り返り、現代の食生活の傾向と問題点について、課題を見いだし、その解決をめざして考え適切に判断している。 c:食生活の自立に必要な基礎的な調理ができる。 d:栄養、食品，調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて、学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート レポート 実習態度 発表 考査　等
		学んだことを実生活にいかす ○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ・食生活について	 ○	 ○	 ○	 ○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 考査　等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。